

- 問1 18世紀後半、老中の松平定信が行った寛政の改革では、天明のききんの教訓から、凶作などの非常事態に備えて諸藩や自治体に米を貯蔵させました。この政策を何といいますか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 上知令 2. 株仲間解散 3. 棄捐令 4. 囲米
- 問2 江戸時代の天保の改革において、老中の水野忠邦が実施した政策についての説明です。水野は、都市部での物価高騰の原因が、特定の商人グループによる流通の独占にあると考え、幕府が公認していた商人の組織を解散させ、流通を自由にする事で物価を下げようとした。このとき解散を命じられた、営業の独占権を持つ商人の組織を何といいますか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 株仲間 2. 問屋制家内工業 3. 座 4. 五人組
- 問3 1549年のザビエルの来航から始まり、1600年のウィリアム・アダムスの来航、1641年のオランダ商館の出島移転に伴う「オランダ風説書」の提出開始など、日本の対外関係は変化していきました。その後、1792年にロシアから根室に来航し、通商を求めた人物を次の中から選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. ハリス 2. ペリー 3. シドッチ 4. ラックスマン
- 問4 寛政の改革が行われた時代背景と、その方針について述べた文として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 高知県公立入試 類似)
1. 天明の飢饉による社会の混乱を抑えるため、徳川吉宗の政治を模範として質素倹約を強制した。 2. ペリーの来航による対外危機を乗り切るため、軍制改革を中心とした西洋化を推し進めた。 3. 足軽出身の豊臣秀吉による兵農分離を強化するため、刀狩りを行って農民の武装を解除した。 4. 大塩平八郎の乱による幕府への不信感を払拭するため、株仲間の解散を命じて物価を下げようとした。
- 問5 江戸時代中期以降の農村では、それまでの自給自足に近い生活から、市場経済と深く関わる生活へと変化しました。ある当時の記録には、百姓が菜種などの作物を栽培して売り、その代金で肥料を購入したり、日々の買い物で金で済ませたりする様子が記されています。このような、農村において売ることを目的とした作物を栽培し、必要な品を貨幣で購入するようになった変化を何と呼びますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 農村の商業化 3. 割地償行 4. 問屋制家内工業
- 問6 江戸時代に整備された海上交通路である「西まわり航路」について、出発地から目的地までの経路を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。 2. 九州の長崎を出発し、対馬海峡から日本海に入り、北陸地方の各港を経由して大阪へ至る経路。 3. 出羽国の酒田を出発し、敦賀で一度荷物を下ろして陸路を通り、琵琶湖の小型船に積み替えて大阪へ至る経路。 4. 日本海沿岸の酒田を出発し、津軽海峡を越えて太平洋側を南下し、江戸を経由して大阪へ至る経路。
- 問7 江戸時代の交通や流通の仕組みについて、日本海沿岸に位置する新潟が、物流の中継地点として大きく発展した背景や理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 西廻り航路の整備により、大坂と結ぶ海路の寄港地となったため 2. 朱印船貿易の制限に伴い、海外向けの輸出入を行う唯一の公認港となったため 3. 五街道の一つである北国街道の宿場町として、陸上交通の要となったため 4. 東廻り航路の終着点として、江戸へ直接物資を送る拠点となったため
- 問8 フランス革命直前の社会構造において、第三身分と呼ばれた平民たちが、特権階級である聖職者や貴族に対して抱いていた不満の内容として最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 国王が聖職者と貴族の特権をすべて廃止しようとしたため、平民が受けていた伝統的な保護が失われたこと。 2. 人口の多くを占める平民が、免税などの特権を持つ聖職者や貴族に代わって、国家の財政を支える重い税や労役を負担していたこと。 3. 平民がすべての政治的役職を独占していたものの、聖職者から精神的な抑圧を受けていたこと。 4. 聖職者や貴族にのみ重い税が課されており、彼らの不満が経済の混乱を招いて平民の生活を圧迫していたこと。
- 問9 日本の歴史における農村の変遷について述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。平安時代から江戸時代末期までの流れを考慮して答えなさい。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 平安時代、地方の有力な農民の中には、自らの土地を守るために武装して武士団を形成する者が現れた。 2. 江戸時代末期、開国による物価高騰や凶作などの社会不安を背景に、農民たちが格差の是正を求める「世直し一揆」が頻発した。 3. 中世の農村では、水車や牛馬耕の利用が広がり、農業の生産性が高まったことで農民の自立が進んだ。 4. 戦国時代から江戸時代にかけて、農民は自由に土地を離れることが認められ、都市部への移住が奨励された。
- 問10 18世紀後半、当時の社会情勢を風刺した「白河の清きに魚の住みがねて もとの濁りの田沼恋しき」という狂歌が流行しました。この歌が詠まれた背景について述べた文として、最も適切なものを次から選んでください。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 松平定信による寛政の改革が極めて厳格であったため、人々がその政治を否定的に受け止めたこと 2. 寛政の改革によって商業が活性化し、田沼意次の時代よりも景気が良くなったこと 3. 白河藩の特産品である魚の流通が滞り、江戸の町で深刻な食糧不足が発生したこと 4. 田沼意次による賄賂政治が批判され、松平定信による清廉な政治が庶民に熱烈に歓迎されたこと
- 問11 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 2. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 3. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 4. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。
- 問12 1789年にフランスで革命が勃発し、民衆が絶対王政に反対して立ち上がった際、国民議会によって採択された宣言の名称として最も適切なものを選択してください。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 人権宣言 2. 独立宣言 3. 権利の章典 4. マグナ・カルタ
- 問13 江戸時代の外交において、幕府が長崎の出島でオランダとの貿易を継続させた際、その許可の前提となった条件について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 対馬を通じた朝鮮との貿易にもオランダが協力すること 2. オランダ人が江戸に居住し、日本の法律に従うこと 3. キリスト教の布教を一切行わないこと 4. 幕府が指定したキリスト教の教典のみを日本に持ち込むこと

答え合わせ・解説

問1	答え 4 囲米	寛政の改革を主導した松平定信は、天明のききんによる深刻な食糧不足や社会不安を経験したことから、飢饉対策を重視しました。各地の諸藩に対して、石高に応じて一定量の米を蓄えさせる「囲米（かこいまい）」の制を設けたほか、江戸の町入用を節約させた金の7割を積み立てさせる「七分積金」なども実施し、民衆救済の財源を確保しようとしてしました。
問2	答え 1 株仲間	江戸時代、幕府や藩から営業の独占権を認められていた商人の組織を株仲間といいます。天保の改革を主導した水野忠邦は、物価高騰を抑えるために、この独占を排除して流通の活性化を図りました。しかし、実際には長年築かれてきた流通システムが混乱し、逆効果になったため、後に再び結成が認められることとなりました。
問3	答え 4 ラックスマン	18世紀末になると、それまでの鎖国体制を揺るがす出来事が起こり始めます。1792年、ロシアの使節であるラックスマンが伊勢の漂流民である大黒屋光太夫を伴って根室に来航し、通商を求めました。これは幕府にとって北方警備を意識させる大きな契機となり、その後の外交政策に影響を与えました。なお、シドッチは1708年に屋久島に潜入した宣教師です。
問4	答え 1 天明の飢饉による社会の混乱を収めるため、徳川吉宗の政治を模範として質素倹約を強制した。	松平定信が老中に就任した直前には「天明の飢饉」が発生しており、農村の荒廃や打ちこわしの頻発など、社会が極めて不安定な状態にありました。定信は、幕府権威の回復を目指し、祖父である徳川吉宗が行った「享保の改革」を理想に掲げ、武士だけでなく庶民に対しても極めて厳しい質素倹約を求めました。なお、株仲間の解散は後の水野忠邦による「天保の改革」の内容です。
問5	答え 2 農村の商業化	江戸時代、都市の発展とともに農作物の需要が高まると、農村では米以外の綿、菜種、藍などの「商品作物」の栽培が盛んになりました。これにより、農民は作物を売って得た貨幣で、干鰯（ほしか）などの高価な肥料（金肥）や日用品を購入するようになり、自給自足的な生活から貨幣経済に依存する生活へと移行しました。この現象を農村の商業化といいます。
問6	答え 1 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。	西まわり航路は、東北地方（山形県）の酒田を起点とし、日本海沿岸を西へ進んで本州西端の下関を回り、瀬戸内海を通して経済の中心地である大阪へと結ぶルートです。この航路の確立により、東北や北陸の年貢米などが大量に「天下の台所」と呼ばれた大阪へ運び込まれるようになりました。
問7	答え 1 西廻り航路の整備により、大坂と結ぶ海路の寄港地となったため	新潟が発展した最大の要因は、17世紀後半に西廻り航路が確立されたことにあります。この海路によって、東北や北陸の米などが安全かつ大量に大坂へ運ばれるようになり、新潟はそのネットワークにおける重要な寄港地としての役割を担いました。他の選択肢について、東廻り航路は太平洋側を通して江戸へ向かうルートであり、宿場町としての役割よりも港町としての役割が新潟の発展に強く寄与しています。また、海外貿易の制限に関連して発展したのは主に長崎です。
問8	答え 2 人口の多くを占める平民が、免税などの特権を持つ聖職者や貴族に代わって、国家の財政を支える重い税や労役を負担していたこと。	当時のフランス社会は、特権階級である聖職者や貴族が富と権力を独占する一方で、彼らは免税などの権利に守られていました。国家の財政赤字を補うための負担は、参政権を持たない第三身分（平民）に集中しており、この構造的な不平等がフランス革命の直接的な原因となりました。風刺画などで「平民が二人の特権階級を背負う姿」として描かれるのは、この一方的な負担の重さを象徴しています。
問9	答え 4 戦国時代から江戸時代にかけて、農民は自由に土地を離れることが認められ、都市部への移住が奨励された。	近世の幕藩体制下では、年貢の確保を最優先とするため、農民に対して「田畑勝手作の禁」や「田畑永代売買禁止令」などが出され、土地を離れることや職業を変えることは厳しく制限されていました。一方、幕末には社会の行き詰まりから、新しい世の中を求める「世直し一揆」が各地で起こり、幕藩体制の崩壊を早める一因となりました。
問10	答え 1 松平定信による寛政の改革が極めて厳格であったため、人々がその政治を否定的に受け止めたこと	「白河」は寛政の改革を主導した白河藩主の松平定信を指し、「清き」は彼の厳格で清廉な政治姿勢を意味しています。一方、「田沼」は前時代の田沼意次を指し、「濁り」は賄賂などが横行した政治を指しています。この狂歌は、あまりに厳しすぎる松平定信の改革によって息苦しさを感じた人々が、汚職はあったものの規制が緩やかで活気のあった田沼時代を懐かしみ、改革を批判的に捉えていた状況を表現しています。
問11	答え 3 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問12	答え 1 人権宣言	フランス革命の初期、1789年に国民議会が採択したもので、正式名称は「人間および市民の権利の宣言」です。アメリカ独立宣言などの影響を受け、啓蒙思想に基づいた近代市民社会の基本原則を確立しました。なお、権利の章典はイギリスの名誉革命の際に、独立宣言はアメリカ独立戦争の際に発表されたものです。
問13	答え 3 キリスト教の布教を一切行わないこと	幕府がオランダに対して貿易を許可した決定的な要因は、宗教（キリスト教）と商業の分離です。幕府は1630年代に段階的に鎖国体制を築く中で、日本国民への布教の恐れがない国を選別しました。オランダは幕府のこの方針に従い、キリスト教の布教に関与しないことを誓ったため、唯一のヨーロッパの窓口として認められました。